

いわた 文化財だより 第230号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和6年5月1日発行

目次

- 『掛塚祭竹馬』と『匂坂中村絵図』が磐田市指定文化財に！ P1～3
- 文化財だより合冊版がWEBでご覧いただけますP4
- コラム『目が4つ！？動く文化財を目撃』 誌石麻貴 P4

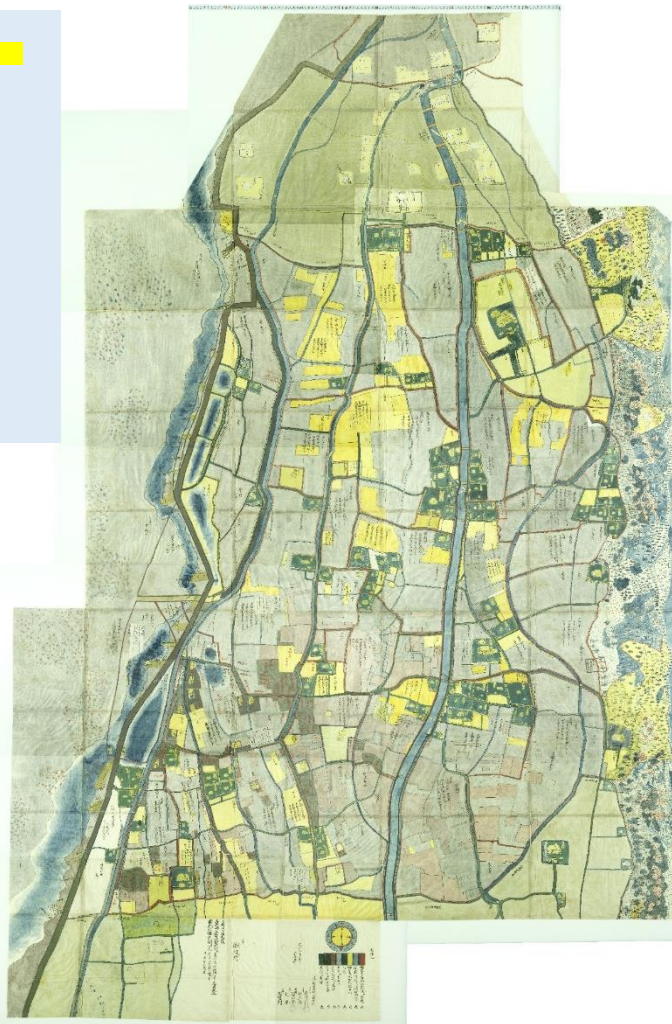
祝 『^{たけんま}掛塚祭竹馬』と 『^{さぎさか}匂坂中村絵図』が 磐田市指定文化財に！



文化財課キャラクターともちゃん



掛塚祭竹馬



匂坂中村絵図（縦 2.6m × 横 1.7m）

磐田市文化財保護審議会の答申を受け、令和6年4月26日に『掛塚祭竹馬』と『匂坂中村絵図』が磐田市指定文化財に加わりました。これで、市の指定文化財は138件になります。今回指定となった2件の文化財について紹介します。

掛塚祭竹馬

掛塚祭 今回、指定となった竹馬は掛塚祭の神事です。掛塚祭とは10月第3土・日曜日に行われる市内掛塚の貴船神社の祭礼です。遠州を代表する屋台祭で、掛塚地区の9町が参加します。祭りは、神輿渡御、各町の屋台の曳き回し、屋台の上で奏でお囃子からなります。

屋台囃子は県指定無形民俗文化財になっており、屋台8台などが市の有形民俗文化財に指定されています。



貴船神社に集まった掛塚地区の屋台

竹馬

掛塚祭で神輿行列の先頭を歩き、神輿の通る道の辻ごとで「バレン」を地面に叩きつけてケガレを払います。江戸時代から東町より選ばれた若者が、天狗の面を被って神（猿田彦）となり、この神事をおこなってきました。

神馬（しんめ）を引き出す習俗とササラで渡御の道を清める習俗が合体した独特の祭礼行事で、掛塚祭の神事において特に重要であることから、市の指定文化財となりました。



神輿行列の先頭を歩く竹馬



天狗



神輿の通る辻を清めている様子

「バレン」には、神が宿るとされています。竹で作られたバレンの長さは12尺（約3.6m）あります。持ち手は馬の轡（くつわ）のようになっており、地面に叩きつける部分は、ササラ状になっています。



「バレン」の持ち手



「バレン」の先端

今年の掛塚祭

日時 2024年10月19・20日

場所 貴船神社周辺（掛塚地区）

祭はどなたでも見学可能ですので、この機会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

※竹馬は20日のみおこなわれます

■DVD と公式 YouTube チャンネルで見られる掛塚祭■

今回、紹介した竹馬を含めた掛塚祭は、記録映像を作成しています。映像をおさめたDVDは、市内図書館で閲覧が可能です。また、市公式YouTubeチャンネルでも短縮版の動画を投稿していますので、ぜひご覧ください。



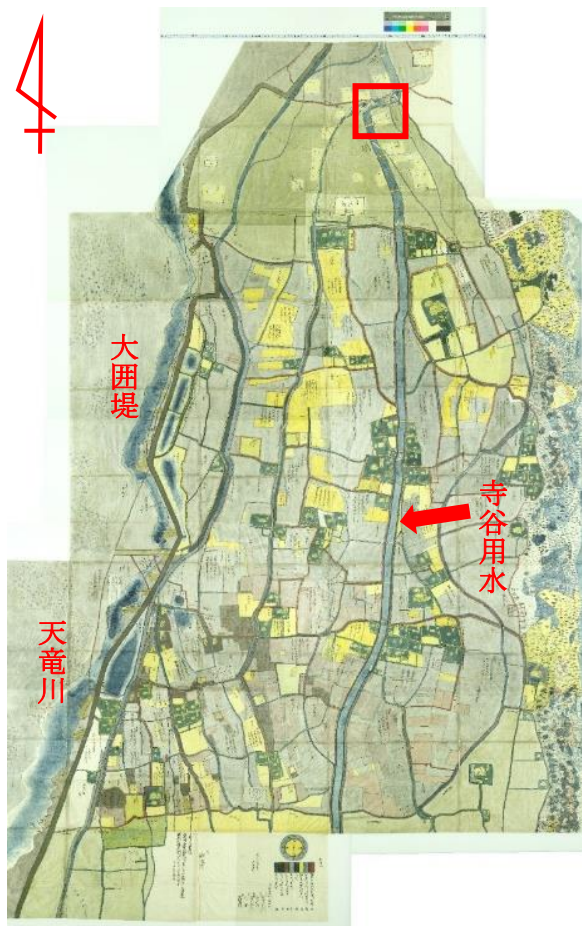
掛塚祭記録映像のDVD



短縮版はコチラから

■ 匂坂中村絵図 ■

文久3年(1863)に描かれた匂坂中村の詳細な絵図です。村内の地境や堀、川筋、用水、屋敷などの土地利用状況などが記された貴重な絵図として、指定文化財になりました。



匂坂中村絵図

寺谷用水

絵図の中央には寺谷用水(※)が描かれ、用水の取水口(坎樋)の配置・名称がわかります。

また、用水の支線により、村内の田畑にどのように水が行き渡ったのかを知ることができる貴重な資料です。

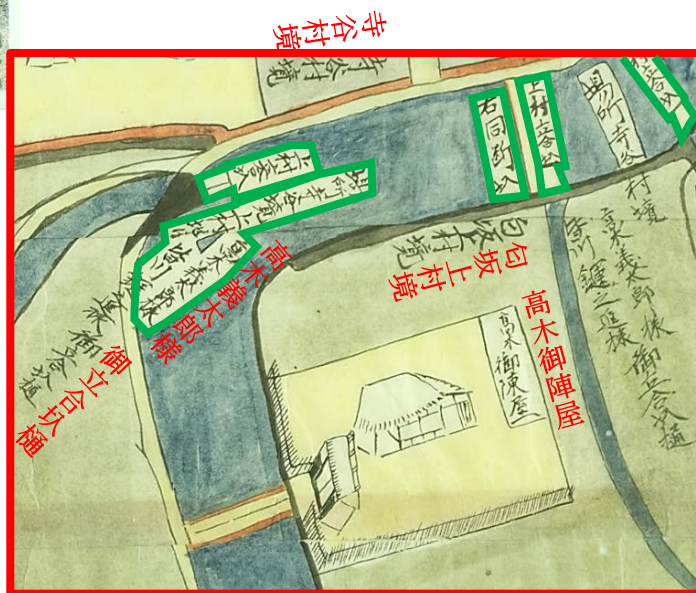
江戸末期の村の様子

匂坂中村は、天竜川の東岸の平野部、現在の岩田小学校などがある地域です。

今回指定となった絵図には、村内の御朱印境、地境、堀筋と川筋、御朱印地、畑、内堤、大囲堤、道筋、高札場、陣屋、寺、神社、民家など土地の利用状況が詳細に記載されています。

それらの土地の利用状況は、赤(地境関連)や黄(御朱印地ほか)、青(堀・川・池など)、緑(道筋など)というように色ごとに塗られ、それらの色が残っているのもこの絵図の特徴です。

情報量が多く、江戸末期の村の様子を細かに知る事が出来る貴重な絵図です。



匂坂中村絵図拡大(左絵図赤枠部分) 緑枠が取水口名称

(※) 徳川家康の命をうけ、伊奈忠次と地元の代官の平野重定が、天正18年(1590)に寺谷村から浜部村まで開削した約12kmの用水路。かんがい面積は約2,000haに及ぶ。世界かんがい施設遺産。

■ WEBでご覧いただけます ■

『匂坂中村絵図』は、磐田市立図書館ホームページ内の電子図書館でご覧いただけます。ログイン不要で閲覧出来ますので、右二次元コードからぜひご覧ください。

資料を展示・公開する際には、文化財だより等でお知らせします。



文化財だより合冊版が WEB でご覧いただけます

毎月発行している文化財だよりを 50 号ごとにまとめた冊子、いわた文化財だよりの合冊版（既刊 4 冊）が、磐田市立図書館ホームページ内の電子図書館で、ご覧いただけます。また、電子図書館では、文化財課が発行したパンフレットも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください（文化財課刊行物はいずれもログイン不要で閲覧可）。



合冊版 4 冊で、
第 1 号から
第 200 号まで
ご覧いただけます



電子図書館内
文化財課刊行物一覧

職員リレー コラム

目が 4 つ!? 動く文化財を目撃

詰石麻貴

2 月中旬、農林環境専門職大学を北にいった辺りで、動く文化財を目撃しました。文化財の名前は「ニホンカモシカ」、特別天然記念物です。

天然記念物とは、文化財保護法によって保護・保存するよう指定された、学術上貴重な動物・植物・地質、鉱物、それらの存在する地域のことを指します。それらの中でも世界的または国家的に価値が特に高いものは特別天然記念物に指定されます。

これは目では
ありません



ニホンカモシカ

ニホンカモシカは、日本固有の動物で、オス・メス共に角があります。今回遭遇したニホンカモシカには、一見目が 4 つあるように見えますが、下にある 2 つは目ではありません。その正体は、眼下腺が何らかの理由で肥大化したものだとされています。しかし、違うとわかっていても、目に見えてくるから不思議です。

この時は、写真を撮ってその場を後にしましたが、その後、1 週間ほど近隣での目撃情報がありました。

あの出会いから約 2 か月、このコラムを書いている 4 月上旬に、前回とほぼ同じ場所で再びニホンカモシカの目撃情報がありました。同一個体かはわかりませんが、元気なことに安堵しつつ、あまりのタイミングの良さにコラムに書こうとしていたことがあの目? で見透かされていたのではと、思ってしまいました。

ニホンカモシカが元気な場合、むやみに近付いたり、餌を与えないでください。また、犬などをけしかけ、刺激しないようにお願いします。死亡している場合は、出来る限り動かさず、文化財課または環境課にご連絡ください。文化財課：0538-32-9699 環境課：0538-37-4874

編 新たに 2 件、市指定文化財が加わりました。
集 今回指定された『掛塚祭竹馬』は、実際に
後 ご覧いただくことが出来ます。今年の秋が
記 今から待ち遠しいです。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB 版は市 HP から閲覧できます。磐田 文化財だより

検索